

一般質問通告内容一覧（令和7年12月定例会）

No.1/2

日程	議員名 (会派名)	質問事項	
12月3日 (水)	西田 京子 (日本共産党)	1	高齢者も障がい者も安心して住み続けられる諫早市について
		2	中小事業者支援について
		3	子育て支援について
	湯田 清美 (公明党)	1	母子手帳アプリ「すくすくおやこ手帳アプリ」について
		2	障害者福祉自動車燃料券について
		3	千々石ミゲル墓所周辺の環境整備について
		4	諫早市社会福祉協議会の運営改善について
	大久保 正博 (新生クラブ)	1	諫早市の税减免制度等について
		2	道の駅251いいもりじやがーロードの現状と今後の展開について
		3	諫早市域の防災対策事業について
		4	支所庁舎等の整備計画について
	佐々木 宣綱 (無会派)	1	障がい者福祉について
		2	市内国道拡幅について
		3	市税滞納者の対応について
		4	市役所の防犯について
	中島 康範 (明政クラブ)	1	中央干拓地の排水路工事について
		2	農業用水路の保全について
		3	有害鳥獣による被害について
		4	交通弱者に対する措置について
		5	小・中学校の防犯について
		6	移動販売車への支援について
12月4日 (木)	中村 太郎 (経世みらい)	1	指定管理者制度について
		2	庁内システムの刷新と業務効率化への取組について
		3	郷土教育について
	福田 美子 (新生クラブ)	1	外国人への対応について
		2	添架水管橋について
	中野 太陽 (日本共産党)	1	平和都市諫早宣言と非核三原則について
		2	多良見地域で市民から寄せられた声について
		3	中学校のジェンダーフリー制服や体操服について
	島田 和憲 (明政クラブ)	1	「道の駅251いいもりじやがーロード」について
		2	ドローンの活用について
		3	江ノ浦川総合流域防災事業改修済区間における市道の環境改善について
	田川 伸隆 (明政クラブ)	1	あらゆるハラスメント対策について
		2	本市小・中学校における性犯罪・性暴力対策について
		3	本市の子ども会について
		4	広域リージョン連携による地方創生について

日程	議員名 (会派名)	質問事項	
12月5日(金)	相浦 喜代子 (無会派)	1 「水管橋耐震不足」関連報道について	
		2 「ゆめタウン諫早」の開業計画見直しに伴う報道について	
		3 「生涯学習」の在り方や本市の考え方について	
		4 長崎ミュージックフェスマラソン2027について	
		5 これまでの質問項目のその後について	
	谷澤 和浩 (経世みらい)	1 県央県南クリーンセンターへの、ごみの搬入路とごみ分別について	
		2 森山農村レストランについて	
		3 謞早市DX推進計画について	
	川崎 剛 (新生クラブ)	1 本市の中長期的財政運営について	
		2 スポーツのまち諫早について	
	酒井 晋介 (明政クラブ)	1 謞早市における自転車利用の現状と交通ルール対策について	
		2 市道諫早有喜線（小川町）の拡幅工事について	
		3 ストリートスポーツを活かしたまちづくりについて	
	岩竹 洋一 (公明党)	1 謞早小学校区の農振除外について	
		2 道の駅251いいもりじやがーロードの事業展開について	
		3 公立小・中学校へのウォーターサーバーの設置及び展開について	
		4 いさはやスポーツコミッショングの事業内容とスポーツ合宿の誘致について	
		5 防災力向上への方策について	
12月8日(月)	青山 昭広 (経世みらい)	1 給食費無償化の財源について	
		2 鳥獣被害の対策について	
		3 競泳用屋内施設の整備について	
		4 ゼロカーボンシティ宣言について	
		5 空き家の現状について	
	橋本 裕太 (無会派)	1 介護人材不足解消に向けた有償介護ボランティアマッチング（スケッタ一）事業の活用について	
		2 謞早市職員のカスタマーハラスマント対策について	
		3 年々増加する小・中学校不登校児童生徒への対応について	
		4 小長井・高来・森山地域を起点とした本市のさらなる活性化について（マラソンコースへの協賛企業広告設置）	
		5 多良見地域を起点とした本市のさらなる活性化について（喜々津駅北側ホーム（出入口）設置ほか）	
	森 和明 (経世みらい)	1 林業・木材の推進及び木造技術者育成について	
		2 (仮称)諫早市浮立保存協議会について	
	山口 正広 (新生クラブ)	1 防犯カメラを活用した地域の防犯対策について	
		2 ふるさと納税による寄附金を学校の施設整備を含めた教育環境整備に充当できる仕組みづくりについて	
		3 小長井地域の廃校舎の利活用に関する検討状況と陸上養殖としての活用について	
計	19名		